

医療情報部

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	2 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	2 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	6 人	

2 教員の異動状況

木村 通男（教 授）（H8.10.1.～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	7.88	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	3 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. *木村通男:厚生労働省標準的医療情報交換推進事業の成果物 SS-MIX 標準ストレージの概要と効用, 薬剤疫学 18 (1) , 49-56, 2013. 【薬剤疫学】

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. *T.Hanatani,K. Sai, M. Tohkin, K. Sagawa., M.Kimura, K. Hori, J. Kawakami,Y. Sato.:Algorithm for the identification of heparin-induced thrombocytopenia using a medical information database, Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics, 38:423-428, 2013. 【薬剤疫学】 [2.10]
2. *Morten Andersen, Ulf Bergman¹, Nam-Kyong Choi, Tobias Gerhard, Cecilia Huang, Jessica Jalbert,Michio Kimura, et.al: The Asian Pharmacoepidemiology Network (AsPEN): promoting multi-national collaboration for pharmacoepidemiologic research in Asia, Pharmaeepidemiology and Drug Safety 22(7), 700-704 Jul., 2013. 【薬剤疫学】 [2.89]
3. *N. Pratt, M. Andersen, Ulf. Bergman, N. Choi, T. Gerhard C. Huang, M.Kimura,et.al:Multi-country rapid adverse drug event assessment: the Asian Pharmacoepidemiology Network(AsPEN) antipsychotic and acute hyperglycaemia study, Pharmaeepidemiology and Drug Safety 22(9), 915-924 Sep., 2013, 【薬剤疫学】 [2.89]

インパクトファクターの小計

[7.88]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男:厚生労働省標準的医療情報交換推進事業の成果物 SS-MIX 標準ストレージの概要と効用, 臨床薬理 44(3), 251-256, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 若林紘平, 久保田潔, 景山茂, 木村通男:臨床情報データベース検索システムを用いた、インクレチン関連薬の低血糖、膵炎、及び心筋梗塞に関する有害事象に関する研究, 第 33 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 33 回医療情報学連合大会論文集 33-Suppl, 824-825, 2013.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 小出大介, 木村通男:大規模医療データベースのバリデーション（日本医療情報学会、日本薬剤疫学会、日本臨床薬理学会、日本臨床試験研究会の共同ワークショップ）, 第 33 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 33 回医療情報学連合大会論文集 33-Suppl, 12-13, 2013.

(2-2) レター

(3) 総説

1. 木村通男, 中島直樹:医療情報データベース基盤整備事業と糖尿病診療・臨床研究, プラクティス 30(6), 735-743, 2013.
2. 木村通男: マイ・ナンバー法と医療情報の今後, 臨床栄養 123(7), 834-836, 2013.

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男 (編集): 電子カルテ・医療情報システム部品集 2014, (株)インナービジョン, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 25 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	3 件 (692 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件 (300 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	2 件 (300 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

- ・ 木村通男（代表者）地域医療基盤開発推進研究事業
医療情報システムのデータを利用した薬剤市販後調査の効率化に関する研究
(H25-医療-指定-010) 526.5 万円（新規）
- ・ 木村通男（分担者）地域医療基盤開発推進研究事業
電子的医療情報の利活用に必要な標準化の整備と普及策に関する研究 (H24-医療—一般-027)
80 万円（代表者：大江 和彦（東京大学））（継続）
- ・ 木村通男（分担者）医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業
医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立
及び実証に関する研究(H23-医薬-指定-025) 85 万円（代表者：川上純一（浜松医科大学））（継続）

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

- ・ 木村通男 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究 300 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表、総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	6 件	6 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	4 件

(3) 学会座長回数	2 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	3 件	4 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

・ Kimura M.: Insights and Lessons Learned from the 2011 /tohoku Earthquake and Tsunami Tragedy, HL7's 27th Annual Plenary Meeting, Cambridge, MA, USA, September 23, 2013.

・ Kimura M.: Drug adverse event detection and clinical indicator on national HL7 standardized CPOE data infrastructure, Asia-Pacific HL7 Conference 2013 & EMR Interoperability Showcase and Workshop, Taipei, Taiwan, October 25, 2013.

・ Kimura M.: Required Infrastructure of EHR, Asia-Pacific HL7 Conference 2013 & EMR Interoperability Showcase and Workshop, Taipei, Taiwan, October 26, 2013.

Kimura M.: Medical Institutions Implementing SS-MIX: What can be done?, 10th Annual Meeting DIA Japan 2013, Tokyo, Japan, November 7, 2013.

・ Kimura M.: Japan's Healthcare Big Databases – Claim Data to Standardized CPOE, The Korean Society of Medical Informatics, Busan, Korea, November 11, 2013.

・ Kimura M.: Taxpayer's Number "MY Number" installation and Healthcare Japan, The 14th China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics (CJKMI2013), Kobe, Japan, November 22, 2013.

・ Kimura M.: SS-MIX Project (Japan) Open EHR in Japan, 1st Philippine eHealth Summit, Manila, Philippine, February 4, 2014.

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

4) 国際学会・会議等での座長

・ Kimura M.: MEDINFO2013, Copenhagen, Denmark, August 22, 2013.

・ Kimura M.: The 14th China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics (CJKMI2013), Kobe, Japan, November 22, 2013.

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

木村通男:Cross-Enterprise Image Sharing-Technologies and Good Practice 診療施設間画像連携について一技術とマナー, 第 72 回日本医学放射線学会総会, 4 月 14 日, 2013. 横浜市

木村通男:マイ・ナンバー制度導入と個人情報・医療個別法の展望, 第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会総会, 5 月 18 日 2013. 熊本市

木村通男:SS-MIX,と SS-MIX を 使う市販後調査の可能性, 2013 年度薬剤疫学セミナー, 7 月 8 日, 2013. 東京都

木村通男:IT イノベーション戦略と医療・介護, 第 51 回日本医療・病院管理学会学術総会, 9 月 28 日, 2013.京都市

木村通男:求められる EHR の基盤, 第 8 回日本医療情報学会中部支部会, 10 月 19 日, 2013. 津市

木村通男:医療 IT 化の光と影, 平成 25 年度九州大学医学部第三内科開講記念会, 11 月 23 日, 2013. 福岡市

3) シンポジウム発表

木村通男:マイ・ナンバーと医療 ID, 第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会 日本医療情報学会とのシンポジウム, 5 月 18 日, 2013. 熊本市

木村通男:連携診療情報に関するアンケート結果—JAMI 医師会員と、静岡県全病院を対象, 第 17 回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2013 in 富山 6 月 22 日, 2013. 富山市

木村通男:地域医療施設間連携システム(EHR)の再評価, 第 49 回日本放射線学会秋季臨床大会 電子情報研究会, 10 月 12 日, 2013. 名古屋市.

木村通男:地域医療にいま不足しているもの, 第 49 回日本放射線学会秋季臨床大会 電子情報研究会, 10 月 12 日, 2013. 名古屋市.

4) 座長をした学会名

木村通男:第 17 回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2013 in 富山 6 月 20 日～22 日, 2013. 富山市.

木村通男:第 49 回日本放射線学会秋季臨床大会 電子情報研究会, 10 月 12 日, 2013. 名古屋市.

木村通男:第 33 回医療情報学連合大会 (第 14 回医療情報学会学術大会) , 11 月 21 日～23 日, 2013. 神戸市.

木村通男:平成 25 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2 月 13 日, 2014. 徳島市.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

Kimura M.: Fellow, American Medical Informatics Association American College of Medical Informatics

Kimura M.: Board, International Association for Medical Informatics

Kimura M.: President , Asia Pacific Association of Medical Informatics

木村通男 日本医療情報学会中部支部会 世話人

木村通男 日本医学放射線学会 電子情報委員会委員

木村通男 日本 IHE 協会 副理事長、運営委員会 委員, 国際委員会 委員長

木村通男 日本 HL7 協会 会長

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	5 件

（１）国内の英文雑誌等の編集

（２）外国の学術雑誌の編集

Kimura M: Journal of American Medical Informatics Association, BMJ Publishing Group, England, Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 3.57

Kimura M: Methods of Information in Medicine, Schattauer, Germany, Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 1.53

Kimura M: International Journal of medical Informatics, Elsevier, Ireland, Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 2.41

Kimura M: Journal of Biomedical Informatics, Academic Press Inc. Elsevier Science, USA, Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 1.79

Kimura M: Healthcare Informatics Research, The Korean Society of Medical Informatics, Korea, Editorial Board, PubMed/MEDLINE 登録あり

（３）国内外の英文雑誌のレフリー

6 回: Methods of Information in Medicine（ドイツ）

2 回: International Journal of Medical Informatics（アイルランド）

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
（１）国際共同研究	0 件
（２）国内共同研究	0 件
（３）学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	1 件

1. 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の電子診療情報等の安全対策への活用に関する 試行調査への参画と指導

すでに 5 年目に入る上記事業であるが、今年度は、過去 5 年間の成果の総括が行われた。

（木村通男）

2. 厚生労働省医薬食品局の医療情報データベース基盤整備事業への参画と指導

上記事業への全国で 10 参画医療機関の一つに選ばれ、平成 25 年度は DB のバリデーションが厚生労働省から本学への委託事業として行われた。（木村通男）

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. かねてより、本学附属病院で SS-MIX 標準化ストレージを用いた災害対策 PC を構築し各種災害時に備えていたが、この準備対策が、ほぼそのままの状態で文部科学省の国立大学病院（46 病院）の災害時バックアップシステム対策プロジェクトに採用され、国立大学病院に設置されることとなった。

（木村通男）

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

1. 各種文書コードの未整備は医療連携を実施する際に問題となるが、EU の医療連携プロジェクトである epSOS の実行委員会より日本におけるコード化についての意見を求められ、本学附属病院、ならびに静岡県での実例から文書コードを英文化し送付した。その結果は epSOS コードに反映されている。

（木村通男）

15 新聞，雑誌等による報道

1. 「全カルテが見える」連携に疑義 - 木村通男・浜松医大医療情報部教授に聞く，
m3.com 医療維新 Vol.1 2013/11/22（インタビュー）
2. 訴訟リスク回避のシステム構築を - 木村通男・浜松医大医療情報部教授に聞く，
m3.com 医療維新 Vol.2 2013/11/29（インタビュー）
3. 各国の成功や失敗の教訓から学べ - 木村通男・浜松医大医療情報部教授に聞く，
m3.com 医療維新 Vol.3 2013/12/6（インタビュー）
4. 静岡で情報連携の実証事業を実施 - 木村通男・浜松医大医療情報部教授に聞く，
m3.com 医療維新 Vol.4 2013/12/13（インタビュー）